

松島町の「歴史・文化」を学びました！



西の浜貝塚から出土した土器や石器などを触って、重さや手触りを体験しました



歴史文化教育「松島まるごと学」がスタートしました！

町内3小学校が統一したカリキュラムに沿って松島の歴史や文化を学ぶ「松島まるごと学」が今年もスタートしています。6月には6年生が、町に所在する国史跡「西の浜貝塚」の出土遺物を見学しながら、縄文時代の暮らしについて学びました。今回の出前授業では、西の浜貝塚出土遺物の中に非常に珍しい「オオツツノハ」製の貝輪が含まれていたことや、石鏃の破片が残ったままの動物の骨など、最新の調査成果が分かる資料も紹介することができました。子供たちは自分たちが使っている道具や食べているものと出土品を比べながら、縄文時代の生活に思いを馳せていました。

また、5年生では「森林学習」として、檀山で自然に触れながら林業について学びました。



森林学習では、チェーンソーを使って丸太を切る体験も行いました！



御島頼賢碑の鞘堂を開扉しました



巨大な五輪塔に圧倒されました

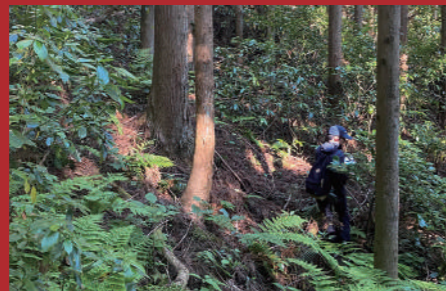
松島ガイドプログラム「景観と信仰」

6月15日に「伊達」な文化や伊達家に関連した文化財を見学できる、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」ガイドプログラム「景観と信仰」を開催しました。プログラムでは通常扉越しにしか見られない国指定重要文化財「奥州御島頼賢碑」を特別公開し、間近に見学。扉が開いた瞬間、参加者たちからは歓声が上がりました。その後、日吉山王神社や天麟院洞窟・観瀾亭を見学し、松島の景観や日本遺産への理解を深めました。

日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」

関連イベントを開催しました！

町制100周年に向けて『松島町史』をつくっています！



▲山城調査の様子



▲ボランティアによる古文書撮影風景



▲昭和8年に架設された木造の福浦橋 ※松島町誌第二版に掲載



▲引き潮で現れた旧福浦橋の橋脚跡



▲「松島れきし再発見講座」で展示した西の浜貝塚出土の動物遺存体

令和10年1月1日の町制100周年に向け、ボランティアの方々の協力もいただきながら資料収集を進めています。平成3年刊行の『松島町史』にも古文書や石碑など多くの資料が収集されていましたが、新たに見つかった資料もたくさんあります。町の公式Facebookでも随時情報を発信しています。これまで発刊した『松島町史』は各公共図書館でご覧いただけます。まだ残部がありますので購入希望の方は町史編さん室(354-5714 教育課生涯学習班兼用)までご連絡ください。町史編さん室では資料を収集しています。家に伝わっている古文書はもちろん、昭和の町並みが見える写真も貴重な資料になります。「こんなものが資料になるかな？」と迷うようなものでもぜひご連絡ください。



雨の中でもじっくり自然観察をしました！



普段とは違う雨の日の福浦橋を楽しみました



「文化財探検隊セタシマ☆クエスト」

6月23日には親子向けの自然体験プログラム「文化財探検隊セタシマ☆クエスト」を開催。特別名勝「松島」の景観を作り出す島々の一つである福浦島を会場に、「フィールドビンゴ」を実施しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、子供たちは「この木の枝がYの字に見える！」「この岩ってしまようじゃない？」「雨だけど、ちょうちょ見つけた！」と嬉しそうに島内を巡っていました。ジュニア・リーダーが出題する日本遺産クイズにも挑戦し、松島の自然と文化を体感できるプログラムとなりました。